

事務事業評価表 平成24年度

政策 豊かさと創造性を育む生涯学習環境の充実  
 施策 ふるさと意識の醸成と地域文化の創造  
 基本事業 自主的市民文化 芸術活動の育成・支援

事業名 **ガラス工芸館管理運営経費**

[0476]

部名	教育部	事業開始年度	平成6年度	実施計画事業認定	非対象
課名	生涯学習課	事業終了年度	- 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	(誰、何に対して事業を行うのか) ・ガラス工芸館 ・ガラス工芸家
意図	(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか) ガラス工芸館を、創作活動及び作品鑑賞の場として公開することにより、創作工芸の分野における文化の振興に資する。
	(事務事業の内容、やり方、手段) ・施設の管理運営 ・ガラス工芸家の創作活動公開への対応
	手段

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	21年度実績	22年度実績	23年度実績	24年度当初
対象指標1	敷地面積	m <sup>2</sup>	1,024.39	1,024.39	1,024.39	1,024.39
対象指標2	延床面積	m <sup>2</sup>	242.72	242.72	242.72	242.72
活動指標1	開館日数	日	61	61	49	57
活動指標2						
成果指標1	来館者数	人	1,673	1,608	988	1,600
成果指標2						
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	2,325	2,395	2,703	2,229
正職員人件費 (B)		千円	830	806	803	809
<b>総事業費 (A) + (B)</b>		<b>千円</b>	<b>3,155</b>	<b>3,201</b>	<b>3,506</b>	<b>3,038</b>

費用内訳	
23年度	報償費 600千円、需用費 1,050千円、役務費 48千円、委託料 992千円、使用料及び賃借料 13千円

## 事業を取り巻く環境変化

事業開始背景		事業を取り巻く環境変化	江別市ガラス工芸館は、野幌代々木町にあった「旧石田邸」を、町並みに個性とつるおいを与える資源として保存し、建物の周辺とあわせて市民の憩いの場として活用するため、平成4年に市が土地と建物を買い上げ、改修整備を加えて平成6年4月にオープンした。 当該施設は、ガラス工芸家が創作活動を行う場でもあることから、その活動ぶりを開館以来公開してきた。平成15年度からは、適正な管理運営と良好な創作環境の維持を図るため、市民等への公開期間及び日数の見直しを行った。 16年3月に旧工芸家が退所後、16年12月から新工芸家が入所し活動を開始した。
--------	--	-------------	---

## 23年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的(対象と意図)ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

義務的事務事業  
 妥当である  
 妥当性が低い

理由・根拠は？

ガラス工芸館の管理運営が目的なので、妥当である。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

貢献度大きい  
 貢献度ふつう  
 貢献度小さい  
 基礎的事務事業

理由・根拠は？

基礎的事務事業

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由、でていない理由は何ですか？

あがっている  
 どちらかといえばあがっている  
 あがらない

理由・根拠は？

16年12月から新たなガラス工芸作家が入所したので17年度以降は来館者が増える傾向にある。

(4)成果が向上する余地(可能性)は、ありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地 大  
 成果向上余地 中  
 成果向上余地 小・なし

理由・根拠は？

ガラス工芸館の来館者を増やすには、ガラス工芸家の創作活動に支障を来さない範囲での見学者の受け入れや対外的宣伝が必要である。

(5)現状の成果を落とさずにコスト(予算+所要時間)を削減する新たな方法はありませんか？(受益者負担含む)

ある  
 ない

理由・根拠は？

見直しをし、経費の削減を図っている。